

事 務 事 業 評 価

平成 28 年度

担当課

しまばら観光おもてなし課

基本事項	事業名	清流亭管理経費					整理番号	1503		
	根拠法令等	なし					実施を義務付ける規定	○あり ●なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第 5 章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる ▼					予算科目	7 款	1 項	3 目
		節 第 4 節 観光業の振興 ▼					事業区分	その他 ▼		
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	観光客の増加及び滞在時間の延長を図るため、島原の資源である「湧水」を有効に活用した周遊コースの確立、観光情報の発信などを行う拠点施設として整備・維持している。					計画期間	始期	平成	27 年度から
								終期	平成	年度まで
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	鯉の泳ぐまち周辺の拠点施設として、観光情報の発信や特産品(しまばらスペシャルクオリティ商品)の紹介等を行うとともに、市民の交流の場とすることにより「にぎわい」の創出を図る。								
	目的達成のための 具体的手段・方法	観光パンフレットへの掲載や観光客誘致事業での観光素材としてのPR、イベントの開催など								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)					単位	26 年度	27 年度	28 年度
		①入場者数	目標	万人			10	10		
			実績	万人			10			
			達成率	%			100.0	0.0		
		②	目標							
			実績							
達成率	%									
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①イベント等の実施 (大型連休期間中の特別販売、夜間開館時間の延長など)	目標	日			50				
		実績	日			90				
	②	目標								
		実績								
事業費等の推移	年度 区分		24 年度 実績値	25 年度 実績値	26 年度 実績値	27 年度 実績値	28 年度 予 算	29 年度 計 画		
	① 直接事業費(千円)					10,592	10,750	10,500		
	財源内訳	国 県 支 出 金								
		地 方 債								
		そ の 他				953	1,025	1025		
		一 般 財 源	0	0	0	9,639	9,725	9,475		
	②従事職員給与費 b1×b2		0	0	0	372	374	0		
	従事職員数(人) b1		0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05		
	職員平均人件費 b2		7,277	7,213	7,317	7,438	7,484			
	事業費合計 ① + ②		0	0	0	10,964	11,124	10,500		

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評 価 内 容 （判断理由、課題等）	
必 要 性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 市民や観光客等が自由に利用する施設として必要である。	判 定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 四明荘や湧水館と併せて指定管理者制度の活用を検討している。	B
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 市民や観光客等が自由に利用する施設として必要である。	A
	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 施設の認知度も高まっており、利用者も多い。	A
有 効 性	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある (株)島原観光ビューローの設立により、他の施設と併せ一体的に効果的なPRが期待できる。	B
	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 観光客は増加傾向にあり、一定の効果が得られている。	A
効 率 性	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 四明荘や湧水館と併せて指定管理者制度の活用を検討している。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 四明荘や湧水館と併せて指定管理者制度の活用を検討している。	B
	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 入場者を制限することなく開放している。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			
		判定評点平均 (3点満点) A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算	2.56

◎ 総合自己評価 (所管部署)	
評 価 結 果	☐ A 継続実施(特段の見直しは行わない) ☐ B 改善・見直しを行う ☐ B1 事業規模の拡充 ☐ B2 事業規模の縮小 ☐ B3 事業内容の改善・見直し ☒ B4 その他の見直し ☐ C 休止(隔年実施などへの変更) ☐ D 廃止(終期の設定等を含む) 判 断 理 由 鯉の泳ぐまち観光交流施設(四明荘・湧水館・清流亭)については、指定管理者制度を活用するよう検討する。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 指定管理者制度の活用を検討。
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せてを記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。	

【2次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	四明荘や湧水館と併せて「(株)島原観光ビューロー」へ指定管理を予定しており、これまで以上の効果を期待したい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① ☐ 事業費縮減(事業の見直し)	③ ☐ 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② ☒ 民間委託等によるコストの縮減	④ ☐ 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	△ 756 (千円)